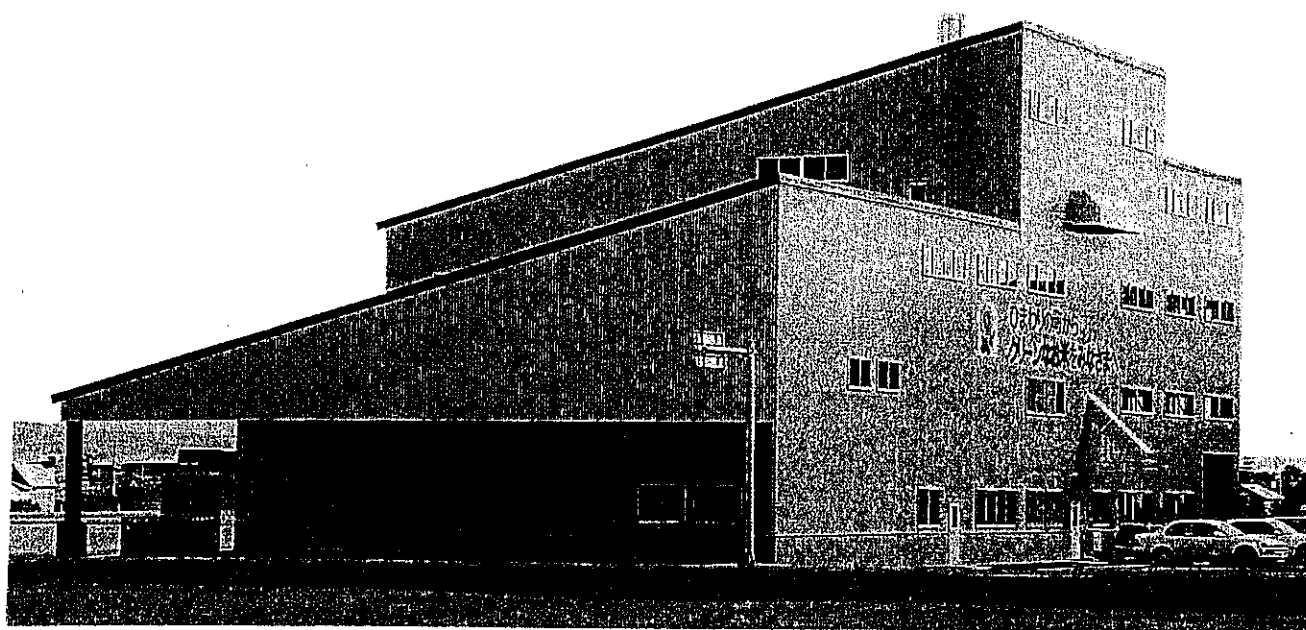


米乾燥調製施設

北竜町玄米ばら調製集出荷施設

—平成8年度 地域農業基盤確立農業構造改善事業—



—北海道北竜地区—

施設の概要

1. 事業名 平成8年度 地域農業基盤確立農業構造改善事業
(経営基盤確立農業構造改善事業)
米乾燥調製施設(玄米ばら調製集出荷施設)
2. 事業主体 北竜町
3. 管理主体 北竜町農業協同組合
4. 所在地 北海道雨竜郡北竜町字和36番地の27
用地面積 2,831㎡
用地取得 3,964,000円
5. 施工管理 ホクレン農業協同組合連合会
6. 設計 株式会社 北農設計センター
7. 施工業者 株式会社 佐竹製作所
8. 工期 着工 平成8年5月11日
竣工 平成8年9月20日
9. 建築面積 1,098.11㎡(延床面積1,214.46㎡)

10. 事業費

項目	金額
建築工事	185,400,000円
製造請負工事	262,000,000円
設計料	3,708,000円
系統施工管理料	3,840,000円
機械器具 (フォークリフト2台)	14,500,000円
消費税	14,083,440円
合計	483,531,440円

11. 施設内容

1) 処理計画

(1) 受入量			
1	うるち	4,800t	
2	もち	690t	
(2) 受入日数			
実20日			
(3) 1日受入量			
1	うるち	240t/日	
2	もち	35t/日	
(4) 処理形態			
1	うるち	フレコン	1,920t 96t/日
		麻袋	1,305t 65t/日
		紙袋	1,575t 79t/日
2	もち	紙袋	690t 35t/日

2) 施設内容

(1) 荷 受 設 備			
1	うるち	$240t \div (8H \times 0.7) = 43t/H$	
		25t/H×2系列 4tホッパーダブル	
2	もち	$35t \div (8H \times 0.7) = 6.3t/H$	
		10t/H×1系列 4tホッパーシングル	
	オートサンプラー、荷受表示機、フレコンホイスト		
(2) 貯 留 設 備 (1日分)			
1	うるち	15t×16基	流調装備付 (240t)
2	もち	8t×4基	流調装備付 (32t)
(3) 出 荷 設 備			
1	うるち		
	○フレコン	$96t/日 \div 8H = 12t/H$	1 式
	○麻 袋	$65t/日 \div 8H = 8.1t/H$ (150俵/H)	2 式
		ロボットバイタイザー	1 式
	○紙 袋	$79t/日 \div 8H = 10t/H$ (330袋/H)	2 式
		ロボットバイタイザー	1 式
	○均質化装置	$240t/日 \div 8H = 30t/H$	2 式
2	もち		
	○紙 袋	$35t/日 \div 8H = 4.4t/H$ (150袋/H)	1 式
	○均質化装置	$35t/日 \div 8H = 4.4t/H$	1 式
(4) 再 選 設 備			
1	色 選	60ch×1式	
2	比 重 選	2t/H×1式	
3	粒 選 別 機	3t/H×1式	

玄米ばら調製集出荷施設増設
(平成17年度 強い農業づくり交付金事業)
概 要

事業実施主体
管理主体(指定管理者)

北 竜 町
きたそらち農業協同組合

北竜町玄米ばら調製集出荷施設増設について

北竜町玄米ばら調製集出荷施設増設委託

1. 委託内容 設計書の作成・工事の施工・施工管理等
2. 契約金額 540,750,000円（消費税込）
3. 工事場所 北竜町字和36番地の27
4. 工事概要 北竜町玄米ばら調製集出荷施設増設
5. 契約の方法 随意契約
6. 契約の相手方 札幌市中央区北4条西1丁目3番地
ホクレン農業協同組合連合会
代表理事会長 矢野 征 男
7. 施工業者 株式会社 佐竹製作所

北竜町玄米ばら調製集出荷施設トイレ増築工事

1. 工事内容 トイレ増築等
1. 契約金額 4,053,000円（消費税込）
2. 工事場所 北竜町字和36番地の27
3. 工事概要 北竜町玄米ばら調製集出荷施設トイレ増築
4. 契約の方法 指名競争入札
5. 施工業者 雨竜郡北竜町字和7番地の4
松原建設
代表 松 原 春 時

1. 施設の増設内容

【増設の基本的考え方】

- ・ 荷受から包装までの流れる量を同じとし、作業効率を上げる。
- ・ 全量、異物除去・色選処理が可能な体制とする。
- ・ トレーサビリティを明確にする為、コンタミ設備・トレサシステムを導入する。
- ・ 包装袋は、1tフレコン・30kg紙袋のみとする。
- ・ 自主検査で製品仕分けをし、一旦ストック後、同じ種類から処理する体制を取る。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 自主検査 | ・ 自主検査設備の導入（タバ計、穀粒判定機） |
| (2) 荷 受 | ・ コンテナ張込用にホッパー利用可能に改修（ダンプ用）
・ フレコン用は、簡易ガダイで対応 |
| (3) 搬 送 | ・ 搬送能力の統一（うるち1系列20t/hr）
・ コンタミ装置の設置（昇降機下部残留除去） |
| (4) 異物除去 | ・ 色彩選別機での対応
・ テツキatcher（うるち3基、もち1基） |
| (5) 色選設備 | ・ 色選機の増設（うるち200ch×4基、もち90ch×1基）
・ タンクの増設（うるち色選待2タワ1基、色選精品タワ1基） |
| (6) 包装設備 | ・ ロボットパレタイザ-の交換（60kg袋用から30kg袋用へ）
・ もち用パレタイザ-の設置
・ 屑米用フレコン計量機の設置 |
| (7) 管理設備 | ・ トレーサシステムの設置（荷受タンクから包装袋まで） |
| (8) その他設備 | ・ トイレの設置（臨時雇用者等に配慮） |
| (9) 周辺整備 | ・ ハードコンテナの購入1.8t×3,000個（90,000俵）
・ 屑米受入施設・コンテナ仮置施設の建設 |

2. 施設の処理計画

A うるち米

(1) 前提条件

- ① 対象品目：玄米
- ② 面積：1,800ha
- ③ 単収：8.5俵 (510kg/10a)
- ④ 総量：9,180t
- ⑤ 他の施設：北空知広域連へ600t (ライスミル分)
- ⑥ 実質受入：9,180t - 600t = 8,580t
- ⑦ 荷受日数：8,580t ÷ 30日 = 286t/日

(2) 処理計画

- ① 荷受：20t/h × 2系
 $286\text{t/日} \div 20\text{t/h} \div 2\text{系} \div 0.7\text{(作業効率)} = 10.2\text{h/日}$
- ② 調整：200ch × 4台 = 4.2t/台 × 4台 = 16.8t/h
 $286\text{t/日} \div 16.8\text{t/h} = 17.1\text{h/日} \rightarrow$ 荷受終了後 約7時間の調整作業が必要 (夜間運転)

(3) 設備能力

- ① 色彩選別 一次選別560ch × 30kg/ch/hr = 16.8t/h
- ② 最大流量 調整済み分20t/h + 色選16.8t/h = 36.8t/h
- ③ 包装能力 フレコン充填機 MAX20t
パレタイザー 既存MAX330袋 (9.9t)
新設MAX240袋 (7.2t)
能力合計 最大37.1t

B もち米

(1) 前提条件

- ① 対象品目：玄米
- ② 面積：130ha
- ③ 単収：8.5俵 (510kg/10a)
- ④ 総量：663t
- ⑤ 荷受日数：30日
- ⑥ 一日受入量：663t ÷ 30日 = 22.1t/日

(2) 処理計画

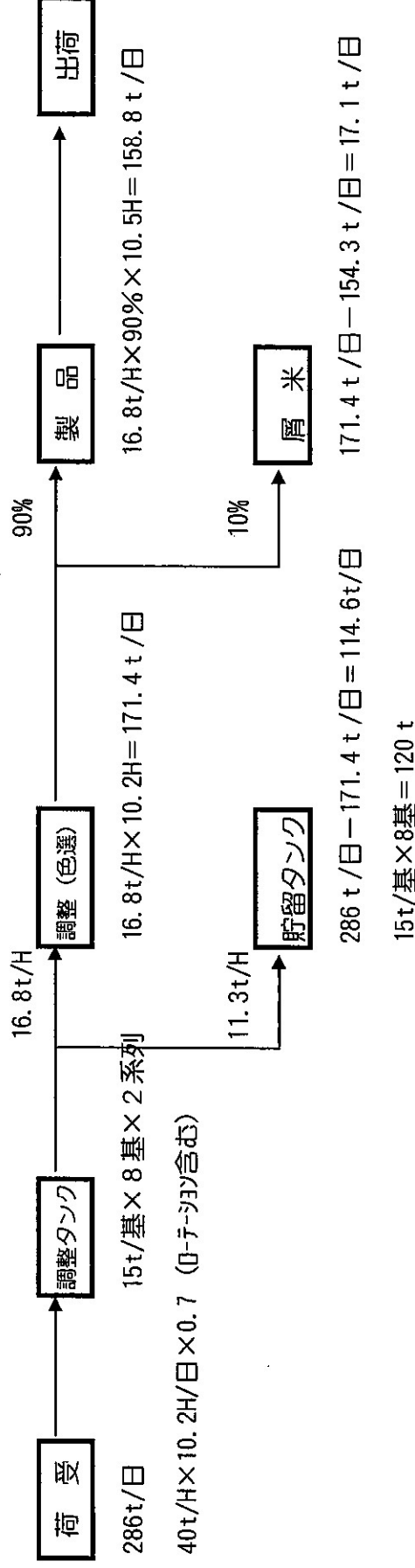
- ① 荷受：10t/h × 1系
 $22.1\text{t/日} \div 10\text{t/h} \times 1\text{系} \div 0.7\text{(作業効率)} = 3.2\text{h/日}$
- ② 調整：90ch × 1台 = 1.8t/台 × 1台
 $22.1\text{t/日} \div 1.8\text{t/h} = 12.3\text{h/日} \rightarrow$ 荷受終了後 約9時間の調整作業が必要

(3) 設備能力

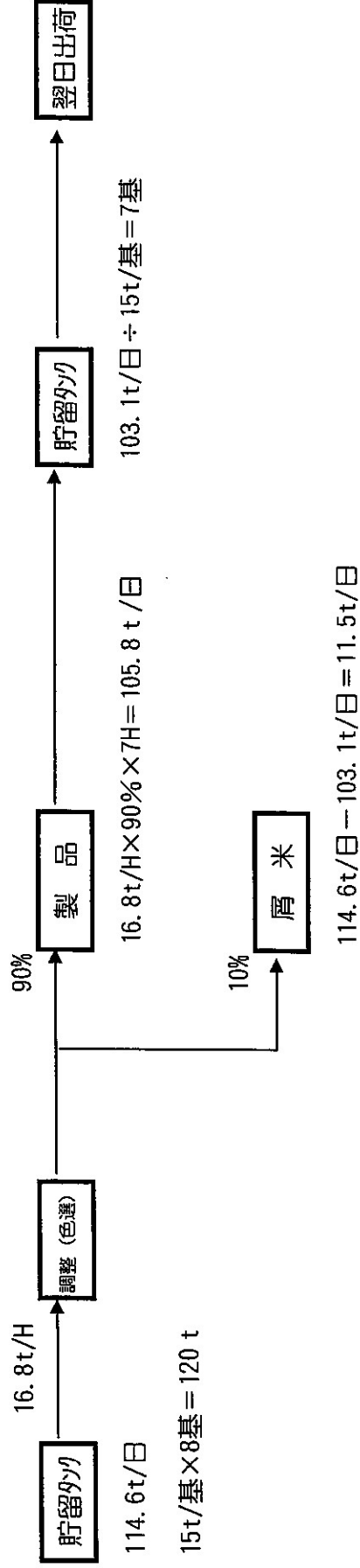
- ① 色彩選別 一次選別60ch × 30kg/ch/hr = 1.8t/h
- ② 最大流量 色選1.8t/h

玄米ばら調整集出荷施設 運用フロー（うるち米）

荷受開始～10.2H後迄



荷受終了～7H後迄



玄米ばら調整集出荷施設 運用フロー（もち米）

荷受開始～3.2H後迄



荷受終了～9H後迄

